

安全就業ニュース

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会



剪定作業では、必ず保護帽（ヘルメット）を装着してくださいね。
会員の皆さん約束だよ！



令和5年度 重篤事故とその推移について

1 重篤事故の推移

表1のとおり令和5年度の重篤事故の件数は36件で、過去20年で4番目に低いものの昨年度の29件からは7件の増加という残念な結果となりました。就業中の事故は25件で、昨年度の19件から6件の増加、就業途上は11件で、1件の増加となっています。

死亡事故は、就業中17件、就業途上6件の計23件で昨年度20件から3件の増加となり、6ヶ月以上の入院は就業中8件、就業途上5件の計13件で、昨年度から4件の増加となりました。昨年度15件であった就業中の死亡事故が2件増の17件となりましたが、引き続き、より重点的に植木の剪定、樹木の伐採等での墜落・転落等に遭わないよう確実に留意事項などに注意する必要があります。

表1

(重篤事故＝死亡又は6カ月以上の入院)

区分 年度	就業中			就業途上			総件数		
	死亡	入院	小計	死亡	入院	小計	死亡	入院	合計
元年度	12(0)	9(1)	21(1)	6(1)	10(2)	16(3)	18(1)	19(3)	37(4)
2年度	14(0)	12(0)	26(0)	13(5)	2(1)	15(6)	27(5)	14(1)	41(6)
3年度	20(0)	7(0)	27(0)	6(3)	6(1)	12(4)	26(3)	13(1)	39(4)
4年度	15(4)	4(0)	19(4)	5(2)	5(0)	10(2)	20(6)	9(0)	29(6)
5年度	17(1)	8(0)	25(1)	6(2)	5(4)	11(6)	23(3)	13(4)	36(7)

()の数字は女性で内数

2 令和5年度重篤事故の分析

(1) 就業中の事故

表2-1のとおり、就業中の事故の約6割が「墜落・転落」であり、毎年度高い割合で推移しています。中でも植木剪定、樹木伐採等における墜落・転落の事故が8件と多く、保護

帽、墜落制止用器具（安全帯）を着用していれば大きな事故にはならなかったと悔やまれますので、必ず着用するようにしてください。

また、今年度は草刈作業中に転倒、高所から転落して亡くなるなどした事故が6件起きています。作業現場の確認、講習受講の確認、機械の整備、複数人での作業、手順書等の作成、保護具の着用等を徹底して実施し、特に急斜面などで安全が確保できない場合は、請け負わないようにしてください。

表 2 - 1 令和5年度重篤事故の分析－就業中－

事故の型	事故の内容	事故件数			
		死亡	入院	合計	比率
墜落・転落	植木剪定、樹木伐採等における墜落・転落	5	3	8	
	草刈作業中、公園の法面2mの高さから転落、フェンスのない3mの高所から転落	0	2	2	
	清掃中、階段から踏み外し頭部から出血、脳内出血	1(1)	0	1(1)	
	施設管理中、階段から転落(2件)、屋根の塗装作業中、1.8m転落、ゴミ処理場のペットボトルコンベアに送り込む作業中、コンベア転落し、破砕機に巻き込まれた	4	0	4	
計		10(1)	5	15(1)	60%
転倒	草刈作業中、他の場所へ移動する際に誤って転倒、斜面で刈った草で滑り落ち側溝に倒れこむ	2	2	4	
	草刈作業中、駐車場の車に水筒を取りに行った時何らかの理由で転倒、駐輪場内で自転車を整理する際躓き顔から転倒				
計		2	2	4	16%
激突され	構内で通い箱を清掃し、台車で指定場所に運搬し整理する作業中、後退してきたフォークリフトが衝突し、後ろ向きに転倒	1	0	1	
	直径30cm弱のまきの木をチェーンソーで伐採していたところ木が縦に裂けて倒れ体に当たり、脊髄2ヶ所、頸椎骨折	0	1	1	
計		1	1	2	8%
交通事故	発注者宅に他の会員が乗ってきた車を駐車する際、車両後方で被害会員が誘導していたところ、運転していた会員が運転操作を誤り、敷地内フェンスと車輛の間に挟まれた	1	0	1	
	花壇周りのゴミ回収のため車道側でしゃがんでいたところ、手前に駐車していた車の運転手が気づかずに進んで接触された	1	0	1	
計		2	0	2	8%
その他	5名で草刈作業中、ツツジの根元からスズメバチの大群が飛び立ち当該会員の左手甲を刺した。持参していた「蜂撃退スプレー」を噴射したが大群であったため、一旦避難した。救急車を呼ぼうとしたが、当該会員は何回も刺されているから大丈夫ということで見守ったが、10分ほど経って顔色が悪くなり、救急車を呼んだがアナフィラキシーショックにより死亡	1	0	1	
	太陽光発電所の鳥獣侵入防止のため用地とフェンス柵の隙間を埋める作業中、運転するホイールローダーで土砂を採取し、数回運搬した後、法面が急な場所で土砂をバケットに入れ持ち上げようとしたところバランスを崩して横転してしまい下敷きになった	1	0	1	
計		2	0	2	8%
合計		17(1)	8	25(1)	100%

(2) 就業途上の事故

就業途上の重篤事故は、表 2 - 2 のとおり、徒歩での事故が 3 件、自転車事故が 6 件、バイク 2 件と自転車の事故が多発しました。就業途上の事故の中には、必ずしも本人に過失責任があるとは言えない事故もありますが、自転車は軽車両です。自転車による事故の多くは左側通行、一時停止を守ることで防げるという調査結果もありますので、交通ルールを守ることはもちろん、自らの体力などを過信することなく、周りに十二分に注意を払っていただきたいと思えます。

表 2 - 2 令和 5 年度重篤事故の分析 - 就業途上 -

交通手段	事故の場所	事故の内容	事故件数			
			死亡	入院	合計	比率
徒歩	交差点	発注先へ自宅から駅に向かって歩いていた途中、信号機のない交差点を横断していたところ、直進してきた乗用車に追突された	0	1(1)	1(1)	
	道路	帰宅途中で倒れ頭を打った模様。居合わせた人が救急車を呼び搬送。外傷性クモ膜下出血による急性硬膜下血腫となり死亡	1	0	1	
	建物内	清掃作業前、階段に座り手や顔を動かしていたが、声をかけても応答がないので病院へ搬送。しかし、頭部内に出血があり急性硬膜下血腫により死亡	1(1)	0	1(1)	
計			2(1)	1(1)	3(2)	27%
自転車	交差点	自転車で走行中、信号のない交差点で左折してきた車と接触し巻き込まれて死亡 就業先から帰宅途中、T字路交差点で右折しようとし、直進してきたトラックに轢かれ死亡	2(1)	0	2(1)	
	道路	就業先から帰宅途中、信号のない横断歩道で左から来た車が手前で停止したので渡っていたところ、右から来た車にはねられ死亡 就業先に向かう途中、後方から走行してきた車両に接触され転倒 就業先から帰宅途中、横断歩道まで行かず渋滞の車輻の間を通り抜け、横切ろうとした際、左側から来た軽自動車に接触し転倒 就業先から帰宅途中、後方から来たバイクに引っ掛けられて転倒「会員がふらふらと道路中央に寄ってきた。避けようとハンドルを切ったが間に合わず転倒した」とのことで、一時は命も危ぶまれる状況にあった	1	3(2)	4(2)	
計			3(1)	3(2)	6(3)	55%
バイク	交差点	就業先に向かう途中、車と出会い頭の事故で頸椎損傷など 就業先に向かう途中、信号のある交差点で左側から走行してきた乗用車と衝突し転倒、意識不明の重体となり2ヶ月半後に死亡	1	1(1)	2	
計			1	1(1)	2(1)	18%
合計			6(2)	5(4)	11(6)	100%

()の数字は女性で内数

令和 6 年 4 月（令和 6 年度）事故速報

(1) 重 篤 事 故

4 月は、2 件の重篤事故の報告がありました。

就業中・就業途上別にみると、就業中の事故は 1 件であり、令和 5 年度の 2 件と比して 1 件の減少となっており、また就業途上の事故は、1 件で、前年度より 1 件の増加になりました。

4 月報告分までの累計

令和 6 年度 累計	就業中・ 就業途上	件数	内 訳				令和 5 年度同月累計					
			事故の程度		性別		計	事故の程度		性別		
			死亡	入院	男性	女性		死亡	入院	男性	女性	
就業中	1	0	1	1	0	就業中	2	0	2	2	0	
就業途上	1	1	0	1	0	就業途上	0	0	0	0	0	
計	2	1	1	2	0	計	2	0	2	2	0	

No.	性別等	仕事内容等	事故の状況	安全 帽	安全 帯	交通 手段
1	男 79歳	就業 (入院)	広場巡回遊具点検中、三角形の山から足を取られて芝生斜面を転げ落ち、頸部の骨折と損傷、頸椎損傷した。	—	—	—
2	男 75歳	途上 (死亡)	就業先へ自転車で向かう途中、信号機、横断歩道のない交差点でオートバイと衝突し転倒。脳挫傷等により5カ月後、亡くなった。	—	—	自転車

(2) 1か月～6か月未満の入院及び後遺障害の事故

4月は、就業中の事故12件、就業途上の事故11件と、合計23件であり、昨年度同月23件と同数となっています。また、男女別では、男性は20件で2件の増加、女性は3件で2件の減少となっております。

令和6年度4月分

仕事の内容		事故数(件)	男性(件)	女性(件)	平均年齢(歳)	
就 業 中	植木・樹木の剪定等	3(9)	3(9)	0(0)	77	
	除草作業	3(2)	3(2)	0(0)	78	
	屋内・屋外清掃作業	2(1)	1(0)	1(1)	78	
	その他	4(5)	3(4)	1(1)	77	
	計	12(17)	10(15)	2(2)	78	
就 業 途 上	交 通 手 段	徒歩	2(3)	2(1)	0(2)	75
		自転車	7(1)	6(1)	1(0)	82
		バイク	2(2)	2(1)	0(1)	75
		自動車	0(0)	0(0)	0(0)	—
		計	11(6)	10(3)	1(3)	79
合 計		23(23)	20(18)	3(5)	79	

()は令和5年度同月の発生件数

「シルバー人材センター団体傷害保険に係る事故件数等報告書」については、事故の有無にかかわらず毎月8日までに必ず提出願います(平成30年4月24日付 事務局長通達により通知済) ※安全就業の手引(第六改訂) P109～掲載

※ シルバー団体傷害保険の支払いが確定した事故については、速やかに「シルバー団体傷害保険に係る事故件数等報告書」により報告し、報告漏れがないようお願いします。

(3) シルバー派遣事業における労働災害報告の事故(休業1ヶ月以上)

2月は仕事の型別では、「その他の運搬・清掃・包装等の職業」3件、「商品販売の職業」「清掃の職業」が2件、「教育の職業」、「飲食物調理の職業」、「運搬の職業」1件であり、合計10件でした。前年同月の12件と比べ2件の減少となっています。また、男女別では、男性は4件の減少となっており、女性は2件の増加となっています。

2月までの累計で比較してみると、昨年度の109件と比して、本年度は124件と15件の増加となっています。また、男女別では、男性は、8件の増加となっており、女性は、7件の増加となっています。なお、2月に死亡事故はありませんでした。

令和5年度（2月分）

仕事の型（中分類）	中分類コード	事故数（件）		男性（件）		女性（件）		平均年齢（歳）	
		2月	累計	2月	累計	2月	累計	2月	累計
その他の技術者	11	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	—	73
その他の保険医療の職業	15	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—
社会福祉の専門的職業	16	0 (0)	4 (3)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	3 (3)	—	66
教育の職業	19	1 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (1)	70	68
その他の専門的職業	24	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	—	71
一般事務の職業	25	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	—	—
出荷・受付係事務員	27	0 (1)	3 (2)	0 (1)	3 (2)	0 (0)	0 (0)	—	73
営業・販売関連事務の職業	28	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	—	67
商品販売の職業	32	2 (0)	10 (2)	0 (0)	1 (2)	2 (0)	9 (0)	72	75
販売類別の職業	33	0 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	—	79
営業の職業	34	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	—	—
家庭生活支援サービスの職業	35	0 (1)	5 (7)	0 (0)	1 (1)	0 (1)	4 (6)	—	69
介護サービスの職業	36	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	—	70
飲食物調理の職業	39	1 (1)	4 (3)	0 (1)	0 (1)	1 (0)	4 (2)	74	75
施設・ビル等の管理の職業	41	0 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	—	71
その他のサービスの職業	42	0 (0)	4 (6)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	2 (4)	—	75
業務災害 農業の職業	46	0 (0)	4 (3)	0 (0)	4 (2)	0 (0)	0 (1)	—	75
林業の職業	47	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	—	—
生産設備制御・監視の職業 （金属材料製造）	49	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	—	—
生産設備制御・監視の職業 （金属材料製造を除く）	50	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	—	—
生産設備制御・監視の職業 （機械組立）	51	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—
金属材料製造、金属加工、金属 溶接・溶断の職業	52	0 (1)	2 (1)	0 (1)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	—	77
製品製造・加工処理の職業	54	0 (1)	4 (4)	0 (0)	1 (1)	0 (1)	3 (3)	—	71
機械組立の職業	57	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	—	71
機械整備・修理の職業	60	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	—	75
生産関連・生産類別の職業	64	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	—	—
自動車運転の職業	66	0 (0)	3 (0)	0 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	—	70
採掘の職業	74	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	—	79
運搬の職業	75	1 (1)	5 (3)	1 (1)	4 (2)	0 (0)	1 (1)	75	72
清掃の業務	76	2 (3)	12 (18)	0 (2)	3 (11)	2 (1)	9 (7)	83	76
包装の職業	77	0 (0)	0 (4)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (3)	—	—
その他の運搬・清掃・包装等の職業	78	3 (3)	51 (43)	3 (2)	35 (29)	0 (1)	16 (14)	74	72
計	—	10 (12)	124 (109)	4 (8)	67 (59)	6 (4)	57 (50)	75	73

() は令和4年度同月の発生件数

令和2年4月以降に発生した「派遣労働会員の業務災害(休業日数4日以上又は死亡)」、「派遣労働会員の通勤災害(休業日数4日以上又は死亡)」については、「全シ協会員専用ページ」の「シルバー派遣事業における労働災害報告」により、各月翌月最終稼働日までにご入力ください。また、労働災害(業務・通勤ともに)が発生しなかった場合も「労働災害未発生報告」を選択のうえ、各項目をご入力ください。

(令和2年4月22日付 2全シ協発第12号により通知済)

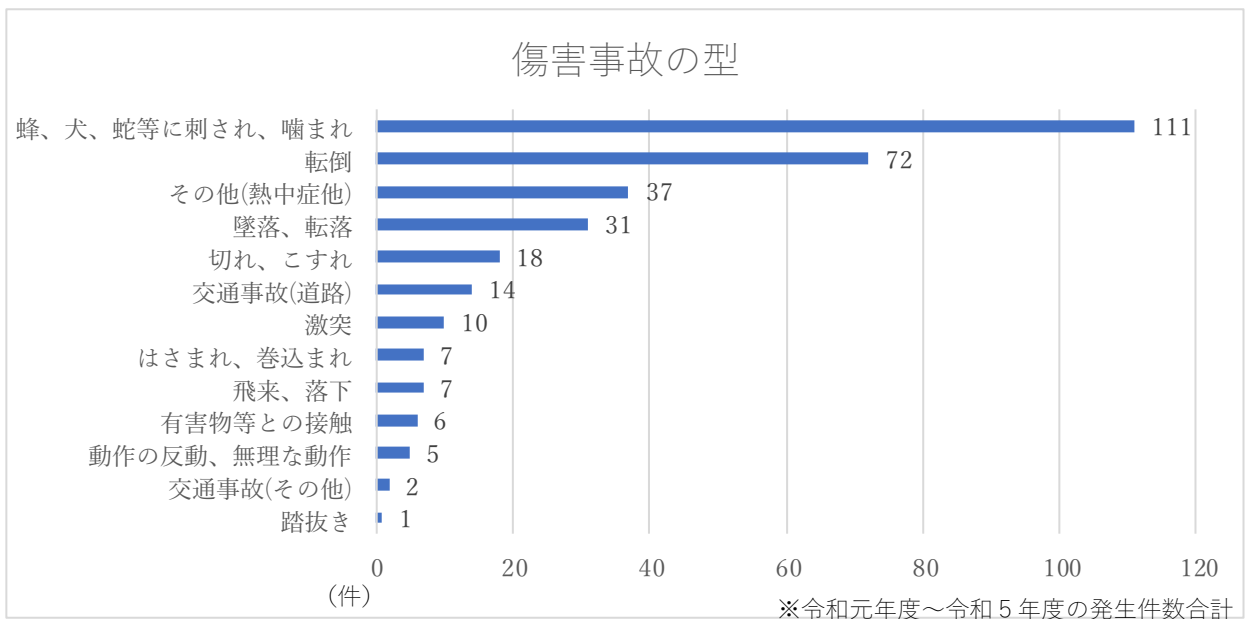
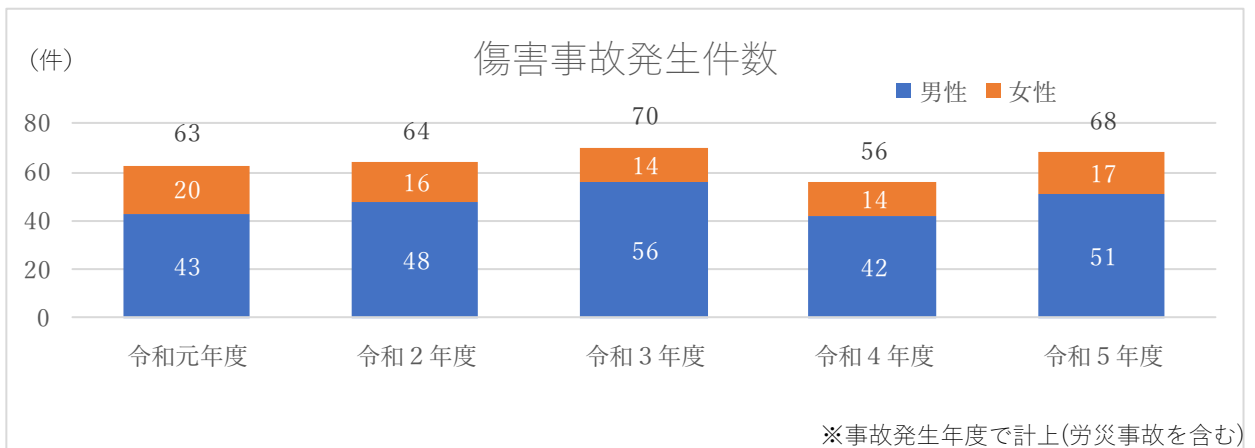
青森県における安全就業の取り組み

1 公益社団法人青森県シルバー人材センター連合会の概要（令和5年度実績）

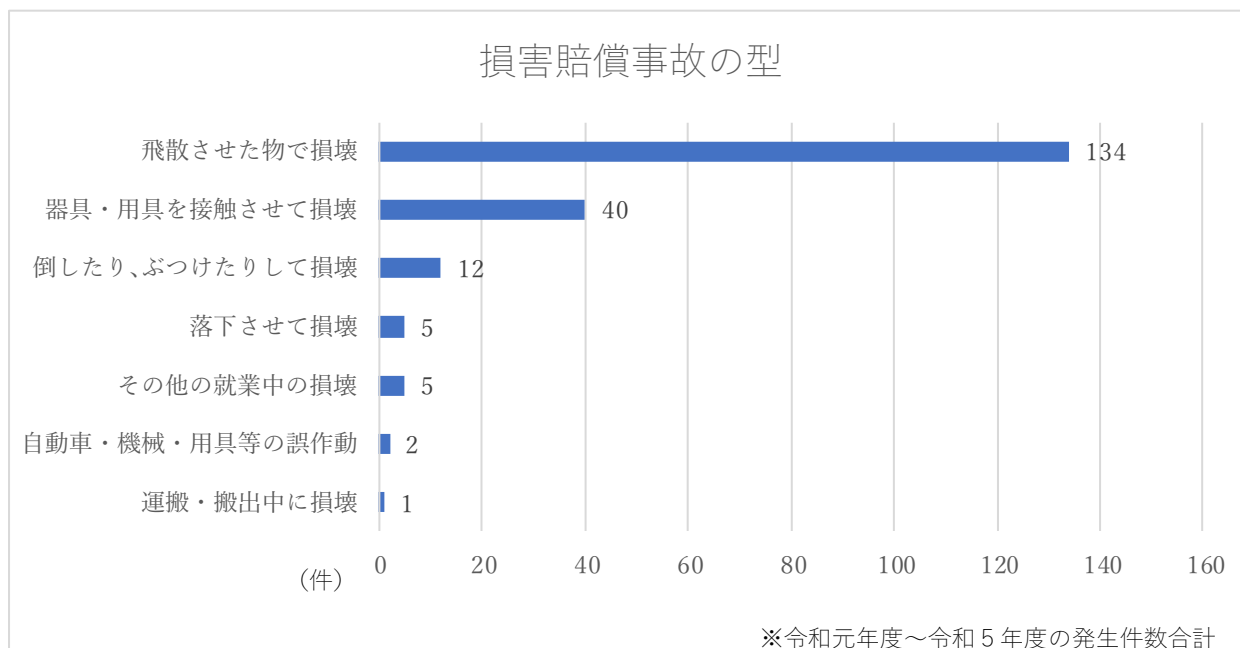
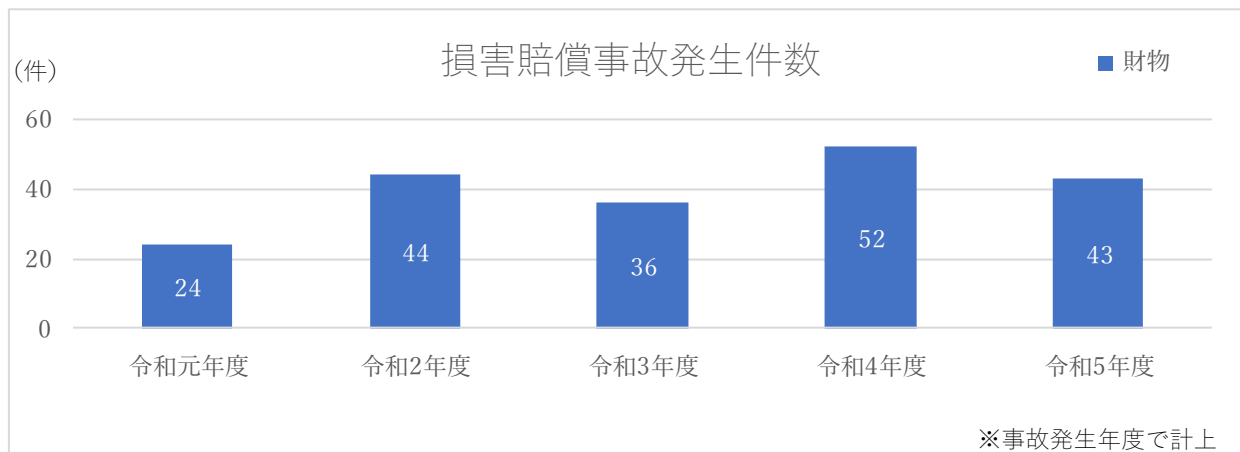
センター数	24 団体		
会員数	6,334 人	（男性 3,943 人 女性 2,391 人）	
受注件数	33,579 件	（請負・委任 32,833 件 派遣 746 件）	
契約金額	2,993,799 千円	（請負・委任 2,205,611 千円 派遣 788,188 千円）	
就業延人員	552,686 人日	（請負・委任 428,992 人日 派遣 123,694 人日）	
就業実人員	請負・委任 5,060 人	派遣 1,319 人	総合 5,466 人
就業率	請負・委任 79.9%	派遣 49.5%	総合 86.3%

2 事故発生状況

(1) 傷害事故



(2) 損害賠償事故



3 安全就業への取り組み

(1) 安全就業推進研修会の開催

蜂刺され及び草刈飛散事故「ゼロ」を目指し、連合会安全・適正就業対策推進委員同行の下、個別にセンターを訪問し、会員を対象とした安全就業推進研修会を実施しました。

事故防止に関する座学その他、両刃回転式刈払機のデモンストレーションや、おにやんまブローチの作成等、体験型の研修を行い、安全意識の高揚を図りました。



参加者同士
和気あいあい



市販品に劣らない
クオリティー



全国で導入が進む両刃回転式の刈払機
従来型のチップソーとは使用感が違うため、作業効率が落ちると敬遠する会員も少なくありません。
石が散在する現場で、参加会員に試していただきました。
また、飛散低減刈刃も紹介し、チップの凹凸が小さいなど、普段使いのチップソーとの違いについても確認していました。



最初は「使い慣れたチップソーのほうがいい」と言っていた会員も、「コツをつかめば悪くない」「塀や縁石の際刈りに最適だ」など、飛石防止効果を実感していました。

(2) 適正就業推進研修会の開催

センター役職員を対象に、フリーランス新法の施行に伴う請負事業の契約方法の見直し(包括契約)について、今後の事業運営に影響を及ぼす恐れがあることから、共通理解を得ることを目的に開催しました。



全シ協・石原業務部長の講義

(3) 安全・適正就業対策推進委員会の開催

県内の事故発生状況の報告、安全・適正就業推進研修会の総括、安全・適正就業対策推進事業計画の設定や意見交換等を行っています。



(4) 安全就業通信の発信

短期間に事故が多発した時など、全センターに「安全就業通信」を発信し、情報共有することで、類似事故の防止等啓発を図っています。

令和5年度 安全就業通信 No.1			
令和6年度 安全就業通信 No.1			
公益社団法人 青森県シルバー人材センター連合会			
【表題】 「転倒」による労働災害が多発しています！			
送信日	令和6年4月26日(金)	発信元	連合会業務課
処理完了日			
今年度に入り、派遣事業で 転倒 、骨折やアキレス腱断裂など長期間の入院			

4 事故防止に向けた取り組み

事故発生報告の都度、連合会ではセンターに対し、蜂刺され防止のために「事前に現場を下見しましたか？」や、飛散事故防止のために「防護ネットで対策を講じましたか？」などと聞くと、「していない」という答えが大半で、事前に事故を防ぐための予防的な対策が後手に回っているのが実状です。

このような実状を踏まえ、連合会では、安全・適正就業対策推進委員会の提言を受け、作業前の現場確認は基より、「蜂刺され・熱中症予防と転落防止」と「草刈現場の養生（防護ネットの使用）と飛散低減刈刃または両刃回転式刈払機使用の徹底」を今年度の安全目標として設定し、研修及びパトロール等を通じてセンター会員の安全意識の高揚を図ることとしています。

☆☆青森県シルバー人材センター連合会からの報告でした。

ご報告、誠にありがとうございました。☆☆



注意：「熱中症特別警戒アラート」が始まりました

●熱中症予防するための行動を理解、実践し、日頃から熱中症に対する備えを万全にしましょう。令和6年4月から熱中症特別警戒アラートの運用が始まりました。

熱中症警戒アラートは、危険な暑さが予想される場合に、暑さへの「気付き」を促し熱中症への警戒を呼びかけるものです。熱中症の危険性が極めて高くなると予想される日の前日17時頃又は当日朝5時頃の1日2回発表されます。令和6年4月からは、熱中症警戒アラートの一段上の熱中症特別警戒アラートが新たに創設されました。熱中症に関する情報は、ニュースや天気予報、環境省及び気象庁のサイトなどで確認し、適切な熱中症予防行動をとりましょう。 参考 <https://www.wbgt.env.go.jp/alert.php> (環境省 HP)

△こんな人は特に注意

- 高齢者、乳幼児
- 暑さに慣れていない
- 肥満度が高い
- 運動不足、睡眠不足
- 運動や発熱など脱水状態にある。

※特に高齢者は注意しましょう！ 室内も油断しないでください。

✓熱中症予防チェック

- エアコンや扇風機で室温をこまめに調整する
- こまめに水分・塩分を補給する
- 外出時は、帽子や日傘、日陰を利用し直射日光を防ぐ
- 保冷剤、氷、冷たいタオルなどで体を冷やす
- 十分な睡眠とバランスの良い食事を心がける

※日常生活における暑さ指数の指針と対策

35以上 熱中症特別警戒アラート※

33以上 熱中症警戒アラート※

31以上 危険・・・高齢者は安静にしているでも発症リスクが高いため、極力外出を避けて涼しい室内に移動する。水分補給も忘れずに。

28以上～31未満

嚴重警戒・・・外出する際は炎天下を避けて、室内では室温が上がらないように気を付ける。

25以上～28未満

警戒・・・運動や激しい作業をする場合は、定期的に十分な休息を取り入れる。

25未満 注意・・・激しい運動や重労働は発症リスクが上がるため注意する。

※熱中症警戒アラートとは？

熱中症の危険度を認識してもらうことを目的に、いずれかの観測地点で暑さ指数が33以上と予測した場合に発表される情報のこと。

また、過去に例のない危険な暑さ（都道府県内全観測地点で暑さ指数35以上）と予測した場合に発表される熱中症特別警戒アラートの運用が今年から始まります。

② 「安全な草刈り作業のために」の動画が全国シルバー人材センター事業協会のホームページからご覧になれます ②

④ 緊急速報 ④

損害賠償事故が、令和5年度において3,711件発生し、支払保険金は、残念ながら約5億円を突破し、保険財政が破綻寸前の状況です。特に飛び石による草刈り作業時の飛散させたものでの損壊は、2,106件で、3年連続で約2,000件発生（過去最高）しています。安全・安心なシルバー事業の確立を図ることから、会員さんが就業前など、より身近に目にしていただけますよう（スマホからもご覧いただけます。）令和6年4月1日より全国シルバー人材センター事業協会ホームページからご覧いただけることといたしました。一人一人が気をつける意識を持つことにより、草刈り作業での飛び石事故は撲滅できます。より一層の安全就業に努めてください。

動画のプログラム

- 草刈り作業について
- 使用道具について
- 刈払機について
- 事事故例の紹介
- 安全対策の紹介
- 事故対策事例 約15分

- ① 安全ルール厳守 「自分は大丈夫」は過信です。
 - ② 現場の事前確認必須 「危険箇所」を事前確認しましょう。
 - ③ 大振り厳禁 大振りは「事故発生率」が上がり危険です。
 - ④ 飛び石は防止できる 「安全対策ツール」（防護ネット・上下刃逆回転ハサミ草刈り刃）などを有効活用しましょう。
- ※ DVDの貸出も行ってあります。

年度別損害賠償保険に係る事故発生状況（令和3年度～5年度）

1. 全国のシルバー人材センターにおける損害賠償保険（事故件数等）

年度	団体数	事故件数			円			1センター当たり（円）
		身体	財物	計	身体	財物	計	
令和3年度	1,339	33	3,614	3,638	16,201,103	456,078,815	472,279,918	352,711
令和4年度	1,340	45	3,714	3,753	2,467,745	462,432,850	464,900,595	346,941
令和5年度	1,341	35	3,682	3,711	9,285,605	497,689,619	506,975,224	378,058

2. 全国のシルバー人材センターにおける損害賠償責任保険に係る型別事故件数（割合）

年度	飛散させた物で損壊	器具用具を接触させて損壊	倒したり、ぶつかりして損壊	落下させて損壊	その他	計
令和3年度	2,005 (55%)	777 (21%)	277 (8%)	174 (5%)	414 (11%)	3,638
令和4年度	2,054 (55%)	822 (22%)	292 (8%)	189 (5%)	396 (10%)	3,753
令和5年度	2,106 (57%)	748 (20%)	272 (7%)	174 (5%)	411 (11%)	3,711

3. 全国のシルバー人材センターにおける損害賠償責任保険に係る仕事の内容別事故件数（割合）

年度	除草、除草剤散布、草刈り	植木職造園師	その他	計
令和3年度	2,356 (65%)	505 (14%)	777 (21%)	3,638
令和4年度	2,487 (66%)	524 (14%)	742 (20%)	3,753
令和5年度	2,542 (68%)	485 (13%)	684 (18%)	3,711

※令和5年度は、速報値です。

安全就業のためのチェックポイント



会員が安全に就業するための要点を、全カラー版でまとめたイラスト小冊子

A4判 32 ページ 2017(平成 29)年 3 月発行 以降、増刷対応

(10 部以上からの販売)

価格 184 円(税込)、送料実費

編集後記

今年のGW、平日3日間を除き、晴天にも恵まれ、5類に下がって最初ということもあり、全国各地の観光地は大賑わい。ご子息一家が都会から故郷へ戻り、お孫さんのお世話でかえって忙しくされた会員さんも多かったのではないのでしょうか。新緑の美しい季節は確実に進み、5月も下旬となりました。今年も昨年に続き、寒暖差が激しい週や日も多く、体調を崩された方も多いいことと思います。そして、もうすぐ梅雨。この時期は、まだ体が暑さに慣れていないため、熱中症が多発する時でもあります。熱中症の予防には、暑さを避け、こまめな水分補給が重要です。屋外での作業は、適度な休憩、水分補給をしながら、無理をしないで実施するようにしてください。今年度は熱中症による重篤事故が起きないことを願っています。(松山)

「1年過ぎるのが早いね」あらゆる人からこの言葉をよく聞きます。確かに私自身も歳を重ねるほどに時間の経過を早く感じています。これは19世紀のフランスの哲学者ジャンネーが、「主観的に記憶される年月の長さは、年少者にはより長く、年長者にはより短く感じられる」という現象を心理学的に説明したもので「ジャンネーの法則」と呼ばれています。歳を重ねるにつれて、自分の人生における1年の比率が小さくなるため、体感として1年が短く、時間が早く過ぎると感じる…ということのようです。1歳の時に感じた1年を1/1とすると、10歳の時の1年は1/10となり、1歳の時10倍速く感じるようになるということです。つまり50歳の人の10年間は5歳の子どもにとっての1年間にあたることとなります。このジャンネーの法則は今現在進行している時間の体感速度ではなく、あくまでも過去を振り返った時に感じる印象だそうです。私自身の若かりし頃を振り返ると、毎日が新しいことの連続で、わくわくドキドキしながらの1年間はとても充実していて長く感じられました。歳を重ねた今、何事もある程度ことは想定済みで、何が起きてもそれほど驚くこともなくルーティーン化した日々を過ごしていますが、皆さんも同じ思いではありませんか？学ぶことを忘れていないか、嫌なことに蓋をしてそのまま年月が過ぎていないかなど、私も残りの人生をより楽しく生きるために色々に見直してみたいと思います。皆さんもぜひ時間の使い方を含め人生の見直しをしてみてはいかがでしょうか？「見直し」といっても、会員の皆さんはシルバー人材センターで働くこと、学ぶこと、遊ぶことはそのまま継続でお願いいたしますね！！(高木)